

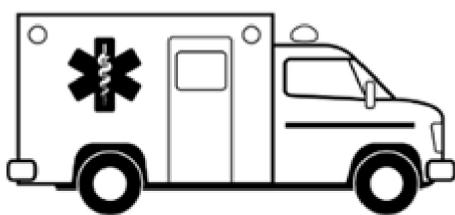


## 令和6年度対エルサルバドル共和国 草の根・人間の安全保障無償資金協力 「エルサルバドル緑十字社3支部救急搬送車整備計画」 引渡し式の開催



2026年3月13日、佐野豪俊駐エルサルバドル日本国大使は、「エルサルバドル緑十字社3支部救急搬送車整備計画」の引き渡し式に出席した。式典には、ルイス・エドガルド・コロラド・ライネス・エルサルバドル緑十字社代表も同社ボランティアらとともに参加した。

エルサルバドル緑十字社の3支部（マハワル、サンタアナ、ルルデス）に救急搬送車が配備された。3支部の担当エリアに住む56万人以上の住民は、緊急時・災害時における迅速で安全な搬送能力、病院前診療、および避難支援の強化によって恩恵を受けることになる。



❖ エルサルバドル緑十字社代表を伴い、駐エルサルバドル日本国大使がテープカットを行った。

日本大使館は、草の根・人間の安全保障無償資金協力（APCS）を通じて、エルサルバドルにおける救助、避難および緊急搬送の現状を強化する必要性を考慮し、3台の救急搬送車（四駆救急搬送車1台および救急搬送用に改装済みバンタイプ車両2台）の供与で合計181,573米ドルを拠出した。



❖ 在エルサルバドル日本国大使館が供与した3台の救急搬送車。

エルサルバドル緑十字社は、3台の救急搬送車の登録手続きと年間車両保険契約のために12,924.69米ドルを支出し、本案件の総額は194,497.69米ドルとなった。

エルサルバドル緑十字社への救急搬送車3台の贈呈式で、日頃から国中で人々の生命を守り、救助活動を行っている緑十字社とそのボランティアの皆さんによる献身的な働きに対し、私は深い感謝の意を表す。

緊急時の患者の搬送は日本でも大きな課題である。2024年には、ヘリコプターを含む救急車の出動件数が、1963年以降で最高の7,729,740件に達した。

これらの救急搬送車が最大限に活用され、56万人以上が暮らすマハワル、サンタアナ、ルルデスの各地域社会に恩恵をもたらすと同時に、病院前診療強化と適時搬送に貢献することを願っている。同時に、エルサルバドル社会全体の取組が求められる交通事故件数の減少も願っている。



駐エルサルバドル日本国大使  
佐野豪俊



エルサルバドル緑十字社代表  
ルイス・エドガルド・コロラド・ライネス

本日は3台の救急搬送車の受領だけでなく、友情、信頼、そして人命に対する責務のシンボルとして受け取った。今回の供与は、私たちエルサルバドル緑十字社にとっても、また、緊急時に迅速かつ適切な対応を必要とする数千人のエルサルバドル人のためにも計り知れない支援である。

サンタアナ支部は国の最も重要な地域のひとつを看っており、ルルデス・コロン支部は人口増加と経済活動が絶え間ない地域にある。マハワル支部は国土の中でも最も観光客の多い地域のひとつである海岸部を担当している。これらの支部は、充実した機材と良好な条件で人道的活動を改善し病院前診療を提供することが可能となる。これらの救急搬送車により、緑十字社ボランティアが緊急時より迅速に現場へ到着して確実に対応でき、患者に値する尊厳とケアをもって人々を搬送できるようになる。

在エルサルバドル日本国大使館が「草の根・人間の安全保障無償資金協力」を通じて実施している案件は、「人間の安全保障」の概念である「人間一人ひとりに着目し、生存・生活・尊厳に対する広範かつ深刻な脅威から人々を守り、それぞれの持つ豊かな可能性を実現するために、保護と能力強化を通じて持続可能な個人の自立と社会づくりを促す考え方」のもと、エルサルバドル国民、特に国内で最も脆弱な地域の生活環境の質を改善しようと試みるものである。